



2022年5月12日 第2473回例会
5月第1例会



RIテーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

本年度会長テーマ「新しい風と微笑みを」



「青少年奉仕月間」

◆ 会長時間 ◆

梶本会長



嬉しいニュースが2つあります。

1つ目は、4月3日に行われた事業「ロータリー奉仕デー」in 宮島に対して、RI会長シェカール・メータ氏より

感謝状をいただいております。

2つ目は、国際社会奉仕委員会が行った事業「UNITAR×Waffle」SDGsを考えるコーディングブートキャンプ」がRI世界本部グローバルコミュニケーション部の目にとり、レポートを提出することとなりました。川妻委員長中心に作成していただいておりますので、よろしく願いいたします。

5月は「青少年奉仕月間」です。若い人々の育成を支援する、すべてのロータリー活動に焦点を当てる月間です。ロータリークラブはこの月間中に、クラブのニュースレターやその他の広報資料に「各ロータリアンは青少年の模範」のスローガンを利用するよう推奨されています。

これは当クラブにおいては、広島修道大学ひろしま協創中学校・高等学校のインターアクトクラブメンバーや米山奨学生グエンティミーフェンさんなどにロータリーの理念や奉仕活動などに関して理解してもらう期間でもあります。例会での時間や青少年・インターアクト委員会、米山奨学委員会などからの啓発活動により、ロータリーを

より理解してもらい、将来の糧としていただきたいものです。

話は変わりますが、私は失敗しても成功してもその時に喜んだり、悲しんだりするけどすぐに忘れることとしました。時は過ぎて行くので、失敗や成功をしても自分が考えているほど人は気にしていなくてすぐ忘れるものだ。失敗を恐れて何もしないより、まず行動に移すことでなにが悪かったのか、どうすれば改善できたのかを考え、そこで得ることのほうが大事ではないのか。ユニクロの柳井社長も「失敗の哲学」をリーダーは持つべきで、それによって学ぶべきことが多いと語られています。

当クラブの平原君も大好きな「一期一会」という諺がありますが、当クラブで会長職を務め、皆様と出会えたことは何かの縁であり、最初で最後の機会かもしれないと捉え、失敗しても残り2ヶ月間を全力で駆け抜けようと思いますので、よろしくご協力お願いします。

📄 「ロータリー奉仕デー」in 宮島に対し、RI会長シェカール・メータ氏より感謝状をいただきました。



● 会務報告

松岡(輝)幹事

- ❖ ロータリーレートが5月から1ドル130円(4月まで122円)に変更になりました。
- ❖ 例会終了後、22階「ルミエール」において5月定例理事会を開催いたしますので、理事会メンバーは出席願います。

● 委員会報告

❖ プログラム・出席委員会

出席報告 片山委員長

本日(5月12日・木曜日)

会員数	84名	出席者	69名
欠席者	15名	ご来客	0名
ご来賓	3名	ゲスト	1名
		計	73名

4週前の例会2022年4月7日・木曜日
出席率 100%



❖ 職業奉仕委員会

田原委員長

次週例会は卓話時間を30分延長し、職業奉仕部門クラブフォーラムを開催いたしますので、皆様、是非ご出席をお願いします。

❖ ロータリー財団委員会

グローバル補助金奨学生 西村 大河さん
のカウンセラー 大植君

2020年度グローバル補助金奨学生 西村 大河さんのご報告をさせていただきます。

西村さんは、昨年9月にイギリス入りし、無事バース大学への留学を果たしました。履修している科目は、「紛争、開発と平和構築」「国際開発の歴史と理論」「国際開発の研究」の3つです。

当初は寮で自主隔離を余儀なくされていたそうですが、しばらくして履修コースが始まり、グループプレゼンテーションでは、戦後の広島 of 再建について話す機会を得て、教授などに興味を持ってもらうこともできたそうです。

バースロータリークラブの例会については、コロナの影響でなかなか出席することができず、今年の2月から例会参加がかなったようです。広島西RCの栞とバッジをお土産として渡したそうです。4月12日には、例会でスピーチをす

る機会があり、厳島神社、原爆ドーム、宮島などをその歴史とともに紹介し、さらに広島西RCについて、その歴史、活動、バナーの由来などをスピーチしたとのことでした。

● 会員記念日

🌸 5月お誕生日おめでとうございます。

(4名)

部谷君

穴戸君

児玉君

村上(健)君



● スマイルボックス

SAA 井下君

😊 新原君(自主申告・トリプル)

ご案内です。明日5月13日に改正道交法が施行されます。70才過ぎて免許更新される方は講習を受けなければなりません、教習所の予約は大変混みあっております。

免許証の有効期限の半年前に案内が届きますので、先のことだと思わずに案内が届いたら速やかに最寄りの教習所へ予約の電話を入れるよう強くお勧めします。

皆様の未永い交通安全を祈念して出宝します。

😊 北村君(自主申告・金一封)

5月8日、娘のりこが広島市成人祭へ参加しました。4月に誕生日を迎えていたので21歳になったの成人式となりました。彼女が輝く未来へ向かって歩き始めることを祈念して出宝いたします。

当日の私はといいますと、どうしても外すことのできないゴルフラウンドへ出席しておりました。西原君からの甘い勧誘に耐えつつ、梶本会長のアドバイスで順調にスコアメイクして

おりましたが、私の努力を粉々にする好調な木本君に、悲しい勉強代を出費しました。次は頑張ります。

● スマンボックス

● 宋戸君

4月29日の14RC対抗ゴルフコンペにて、紫の奉仕ジャンパーをあらうことか現地に忘れてしまいましたので「スマンボックス」に出宝させていただきます。

なお忘れたジャンパーは原君に回収していただき、本日私の手元に戻ってまいりました。以後こういうことがないように注意します。

■ 卓 話



2022年第8回 スペシャルオリンピックス日本 夏季ナショナルゲーム・広島 ～スペシャルオリンピックスについて～

NPO法人スペシャルオリンピックス日本・広島
さい ひみ
理事長 崔 希美氏

みなさまこんにちは、スペシャルオリンピックス日本・広島の崔 希美(さい ひみ)と申します。

このたびは歴史ある広島西ロータリークラブ様にて貴重な卓話のお時間をいただけますことを、心より感謝申し上げます。本日は当会活動の意義と本大会の概要について、お話をさせていただこうと思います。

はじめに、スペシャルオリンピックスとは、知的障害のある人たちに様々なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を、年間を通して提供している国際的なスポーツ組織であり、「オリンピック」「ジュニアオリンピック」と並び、オリンピックと正式に呼称される世界的な活動です。現在は世界200を超える国と地域で、約570万人の知的発達障害のある人と、110万人以上のボランティアが参加しています。実施競技数は29競技あり、スペシャルオリンピックスではこれらのスポーツ活動に参加する知的障害のある人たちを、「アスリート」と呼んでいます。スペシャルオリンピックスの複数形は、大会に限らず、日常的なスポーツトレーニングから世界大会まで、様々

な活動が年間を通じて、世界中で行われていることを意味しています。

この活動は、1968年、故ケネディ大統領の妹ユニス・シュライバーが、当時スポーツを楽しむ機会が少なかった知的障害のある人たちに自宅の庭を開放し、スポーツを通じ社会参加を応援する活動を始めたことから始まりました。ユニスの姉、ローズマリーには知的障害がありました。ユニスは活動を通じ、知的障害のある人たちの可能性を実現し、彼らに対する社会の否定的な固定観念や差別的態度を変えるため、その生涯を捧げました。

日本では1994年にスペシャルオリンピックス日本(以下SON)が発足し、細川 佳代子氏、三井 嬉子氏などの篤志家が歴代会長を務め、現在はオリンピックの有森 裕子氏が理事長を務めています。SONにおいてはこの活動の意義と効果を、「アスリートの健康と体力の増進」「スポーツ技術の向上と競技経験」「地域社会との交流」「自立への意識と自信」そして「包み込む社会」と考えています。

わたしたちスペシャルオリンピックス日本・広島(以下SON広島)は13番目の地区として1998年に設立され、現在約160人のアスリートが、県内5つの支部で活動をしています。このたび設立以来の念願が叶い、2022年11月4日から6日の3日間、ここ広島で中四国初となるナショナルゲーム「2022年第8回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム・広島」を開催できることとなりました。(2023年ドイツ・ベルリンで行われる世界大会の選考会も兼ねています)



大会スローガンは「Power of Smile ~だれもが輝ける場所へ。~」であり、共生社会の実現への決意を込めました。また大会にあたり私たちが選定したロゴは広島県の木「もみじ」をモチーフにしており、垂直に立てた葉の姿は未来志向を、放射状の葉片はこれから私たちが向かうべき多様性を尊重する社会をあらわすとともに、参加者や

観客のエネルギーをグラデーションの色調に込めました。また、広島の多様で美しい自然、都市の賑わい、人々の躍動を多彩な色で表現しました。

ある大学の先生の研究では、スペシャルオリンピックスの活動は、米国では90%を超える認知度がありますが、日本では10%に満たないと言います。そのように、日本におけるスペシャルオリンピックスの活動は、まだまだ認知度が高いとはいえません。もちろん広島でもそうです。だからこそ、私はこの活動を、もっと多くの方に知っていただきたいのです。

私にとってスペシャルオリンピックスは、「未来を想像できる場所」です。

私自身、生まれつき障害を持った息子を授かり、出産直後に48時間の余命宣告を受けました。子供と自分の将来が思い描けず、長い長いトンネルのような時間の末に出会ったかすかな光、それがスペシャルオリンピックスの活動でした。アスリートたちの生き生きとした姿、なにより保護者の方々の前を向いた姿。わが子を育て、大人になれば社会に送り出す、そんな当たり前のことがとても難しい、障害をもつ子を育てるということ。障害児から障害者となって大人になる息子を、障害を持たない上の子2人と同じように社会に送り出して良いのだと、スペシャルオリンピックスに関わる保護者の皆さんの姿から、教えられました。

私たちスペシャルオリンピックスは、スポーツを通して、同じ目標に向かって努力する場を知的障害のある人たちを中心につくり、人と人とのつながりと感動の共有をとおして、すべての人が互いの違いを超えて互いの長所を認め合い幸せを共有できる優しい社会、だれ一人取り残されない共生社会の実現を目指し、これからも努力してまいります。みなさまの温かいご支援とご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は皆さまの大変貴重なお時間をいただき、本当にありがとうございました。

*大会規模：全国47地区より900人のアスリート、のべ4,000人のボランティア、のべ1万人の観客、全体でおよそ1万6千人の動員を計画しています。

競技は陸上、バドミントン、バスケットボール、ボウリング、馬術、サッカー、柔道、競泳、卓球、テニス、フライングディスクの11競技と、1つの自転車デモンストレーションを実施します。

会場は、開会式閉会式をグリーンアリーナ、各種目をエディオンスタジアム、広島経済大学、日本製鉄アクアパーク、中央森林公園など、広島市内を中心にしつつ、呉市、三原市、北広島町にて行います。大会組織としては、大会顧問として湯崎広島県知事、松井広島市長、新原呉市長、岡田三原市長、箕野北広島町長と開催各市町村の首長にすでに就任していただいております、また大会参与として、広島商工会議所 池田会頭、呉商工会議所 神津会頭、三原商工会議所 森光会頭にご就任いただいております。



● 卓話予告

日時	テーマ
5/26(木)	クラブフォーラム 担当：社会・青少年奉仕部門

例会日・木曜日 12:30～13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 梶本 政明
幹事 松岡 輝明

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail: hwrc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC

検索